

(様式—1) 信濃川下流工事施工研究発表会

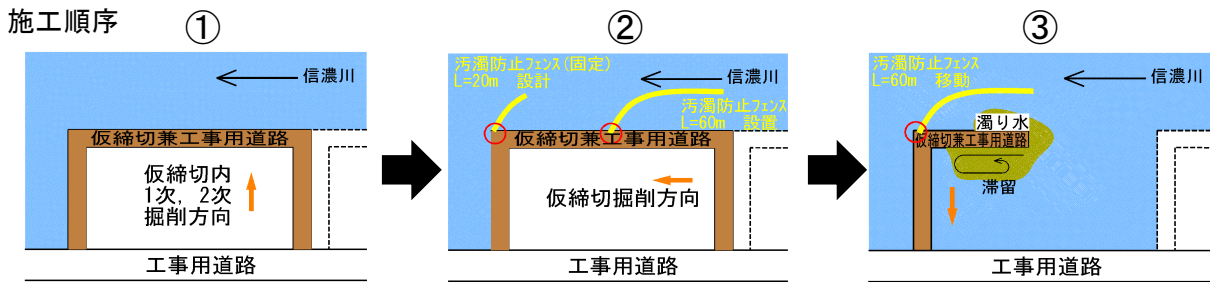
1	表題(課題)名	汚濁防止フェンスの活用による河川への濁水の流出抑制	
2	工事(業務)名	戸石地区河道掘削その3工事	
3	受注者名	丸運建設株式会社	
4	工期	令和2年7月15日～令和3年4月30日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(みやの しゅん) 宮野 俊
6	担当主任監督(調査)員	三条出張所長	
7	課題区分名	⑦環境・リサイクル ( )	
8	工事(業務)概要	戸石地区の河道掘削を施工した。	

9 【施工における 課題・問題点 等】

当該工事は、洪水時の水位を低減し、洪水の安全な流下を目的とした、河道掘削及び土砂運搬が主たる工事である。河川下流部の水辺環境や河川利用者（農業用水利用者・漁業関係者）に対し、水際部の掘削時に発生する濁水の流出抑制に十分な配慮が必要である。また、重機の油や伐木類の流出防止も含め、対策を検討した。

10 【実施内容】

河道掘削の施工区域外周を仮締切兼工事用道路とし、仮締切内の掘削を先行して行う。仮締切を残して掘削する事により、河川への汚濁を防止する。仮締切内の掘削完了後、仮締切部の掘削を行う。仮締切部の掘削を行うにあたり、下図施工手順②の様に、汚濁防止フェンスを上下流の2箇所に設置する。2段階での汚濁防止フェンス設置により、河川への濁水の流出抑制に期待出来る。仮締切の掘削は上流側から行う。上流側より掘削を行う事で、下図③の様に汚濁防止フェンスと下流側の仮締切の両方で濁水の流出抑制を図ることが出来る。また、掘削の進捗に合わせ、上流側のフェンスを移動し濁水の抑制を図る。



11 【実施結果】

実施内容等写真②より、汚濁防止フェンス・仮締切内に濁水が滞留しており、効果があったと思われる。上流側と下流側の2段階で汚濁防止フェンスを設置したことで、河川への濁水の流出抑制に繋がったことも施工中に確認した。また、掘削の進捗に合わせ移動しながら施工を行った事も効果があったと思われる。木くず等の河川への流出防止対策も確認できた。(写真③、④) 工事期間を通して、河川下流部の河川利用者等からクレームが無かったことから、河川への濁水の流出抑制に対して、十分効果があったと考えられる。

【実施内容等】

写真①(設置完了)



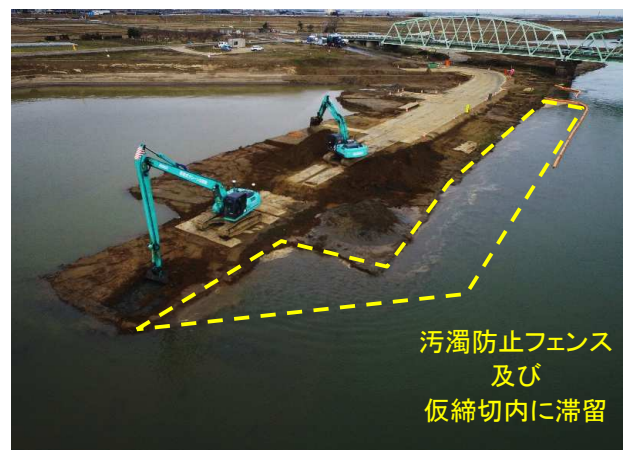
写真①(設置完了近景)



写真②(施工状況)  
掘削に合わせて移動済



写真②(施工状況)  
掘削に合わせて移動済



写真③(木くず等の流出防止)



写真④(木くず等の撤去)

